

# 事業概要 【救急医療情報共有システム導入事業】

自治体名	山形県山形市	人口	241,802人	事業費	24,345千円
------	--------	----	----------	-----	----------

**事業概要**

市民から救急要請があつてから病院収容までに時間を要する「救急搬送困難事案」が以前から村山地域の課題となっており、新型コロナウイルス感染症の影響もあり急増している。また、救急業務にはアナログな情報伝達が多く残存している。そこで、救急業務にICTを導入し、救急隊の現場活動の効率化を図ることで、「現場滞在時間の短縮」「傷病者に適した医療機関への早期搬送と早期治療開始」を目指すものである。

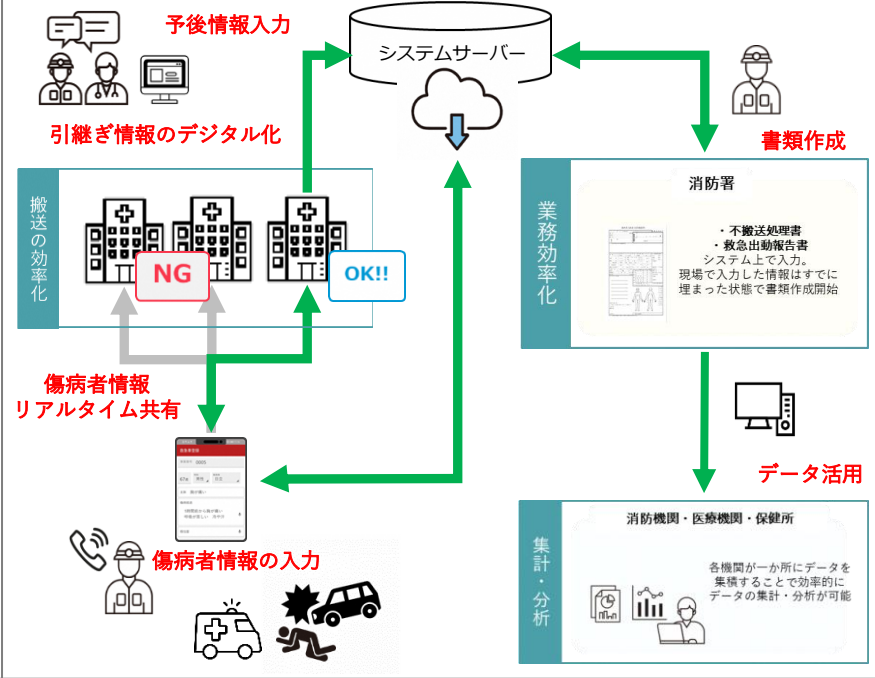
本事業は、山形連携中枢都市圏での広域運用を目指すものであるが、山形市が先行してシステムを導入し、そのシステムを使用し実証実験を行うため、令和6年度は他の自治体にシステム導入費用は発生しない。

- 【救急医療情報共有システム】**
- 傷病者情報をデジタルデータで管理することで、救急隊が行う現場活動が効率的になり、現場滞在時間短縮を図る
  - システムの情報収集支援機能を使うことで、救急活動の質の向上を図る
  - 医療機関と傷病者情報をクラウドでリアルタイム共有することで、傷病者の早期治療開始を図る
  - 山形連携中枢都市圏での広域運用とすることで、地域間の課題解決を図る
  - クラウドで管理した情報を使うことによる、報告書等作成業務の簡略化
  - 救急事案検証体制のデジタル化

**主な KPI**

**【アウトプット指標（活動指標）】**

- ①システムを使用し医療機関に搬送した傷病者数
- ②救急活動に係る時間



**【アウトカム指標（成果指標）】**

- ①現場滞在時間の短縮
- ②受入照会に掛かる時間の削減